

# エヌビディアから恩恵を受ける アジア上場銘柄

## 業績・株価パフォーマンス詳細レポート

作成日：2026年5月4日 情報源：Bloomberg, CNBC, Korea Times, Digitimes 他

### 1. 背景：エヌビディアとアジアサプライチェーンの深化

米半導体大手エヌビディアとの事業提携の恩恵を受けるアジア株のリストが急速に拡大している。フィジカル AI（ロボティクス・自律システム・AI 対応製造）分野への進出が、同社の影響力を半導体の枠を超えて実世界展開へと広げており、アジアはその重要なパートナーとして位置づけられている。

ブルームバーグが集計したデータによると、エヌビディアの生産コストに占めるアジアのサプライヤーの割合は現在約 90%に達し、前年の約 65%から大きく上昇した。米テクノロジー大手（アマゾン、マイクロソフト、アルファベット、メタ）の設備投資合計は 2026 年に約 7,600 億~8,000 億ドルに達する見通しであり、エヌビディアはその主要な受益者として引き続き高成長を維持している。

ブルームバーグ・インテリジェンスのストラテジスト、マービン・チェン氏は「AI の世界的な構築が進む中で、需要の拡大と裾野の広がり、一段と多くのテクノロジー供給企業がサプライチェーンに参入する機会を生んでいる。テクノロジー比重の高い北アジア市場が引き続きアウトパフォームする可能性がある」と分析している。

### 2. 主要指標サマリー

指標	数値	比較基準	備考
アジアサプライヤー比率	約 90%	前年: 約 65%	急速に依存度が上昇
SK ハイニックス 売上増	+198% (前年比)	Q1 2026	過去最高を更新
サムスン電子 利益増	+755% (前年比)	Q1 2026	半導体部門は 48 倍増益
SK ハイニックス 営業利益率	72%	エヌビディア: 65%	世界最高水準
TSMC 売上増	+35.1%(NT\$建) +40.6%(USD 建)	2026 年通期 USD+30%超	HPC 向けが 61%(Q1)
LG 電子 株価急騰	+15%	4月28日単日	ロボット協議報道受け
南亜科技 株価急騰	+10%	4月27日 上限ストップ高	急騰後に-8.3%調整
勝宏科技 上場初日	+60%	香港市場 4月21日	調達額 26 億ドル

### 3. 銘柄別詳細

銘柄名	コード	国・市場	分野	Q1 2026 業績	エヌビディアとの関係
SK ハイニックス	000660.KS	韓国 KRX	HBM メモリ	売上+198% 利益率 72%	HBM3/HBM4 の最重要サプライヤー。市場シェア 57%
サムスン電子	005930.KS	韓国 KRX	半導体・DRAM	半導体部門 48 倍増益 利益率 65%	HBM4 量産開始。SK ハイニックスを追撃中
TSMC	2330.TW/TSM	台湾 TWSE	先端半導体受託製造	売上+35.1% 利益率 58.1%	エヌビディア GPU 全量製造。Vera Rubin 向け 2nm 対応
LG 電子	066570.KS	韓国 KRX	家電・ロボティクス	株価+15% (4/28)	家庭用ロボットのエヌビディアプラットフォーム統合を協議
南亜科技 (Nanya)	2408.TW	台湾 TWSE	DRAM・LPDDR	株価+10%→8.3%調整	Vera Rubin 向け LPDDR5X 供給。台湾初の AI サーバーメモリ参入
徳賽西威 (Desay SV)	002920.SZ	中国 深圳	自動運転	株価急伸 (詳細非開示)	量産型インテリジェント運転ソリューションを共同発表
パテオ・コネク ト (博泰車聯網)	上海上場	中国 上海	自動車 AI	一連の協業で急伸	複数の自動車 AI 協業を連続発表し株価急騰
勝宏科技	香港・深圳	香港・中国	PCB 基板	上場初日+60%	エヌビディア製品向け基板サプライヤー。26 億ドル調達

#### 3-1. SK ハイニックス (000660.KS) — 最重要サプライヤー

カテゴリ：HBM メモリ半導体

Q1 2026 売上高：52.58 兆ウォン（約 3.79 兆円）

売上高 前年比：+198.1%

営業利益：37.61 兆ウォン（約 2.71 兆円）／前年比+405.5%

営業利益率：72%（エヌビディアの 65%、TSMC の 58.1%を上回る世界最高水準）

HBM 市場シェア：57%（業界首位、2025 年 Q4 実績）

SK ハイニックスはエヌビディアへの HBM（高帯域幅メモリ）供給において圧倒的な競争優位を持つ。DRAM の平均販売価格が前四半期比で約 60%中盤上昇、NAND も約 70%中盤上昇と価格上昇が業績を大きく押し上げた。AI 推論需要が予想以上に多くのメモリを必要とすることが明らかになり、顧客各社が供給確保を急いでいる。なお HBM 市場シェア 57%は 2025 年 Q4 時点の Counterpoint Research 調査値。

### 3-2. サムスン電子 (005930.KS) — 過去最高益も出遅れ候補

カテゴリ：DRAM・HBM・ファウンドリー

**Q1 2026 連結売上高**：133.9 兆ウォン (+50.2%前年比、過去最高)

**連結営業利益**：57.2 兆ウォン (+755%前年比、過去最高)

**半導体 (DS) 部門 売上**：81.7 兆ウォン (+225%前年比)

**半導体 (DS) 部門 営業利益**：53.7 兆ウォン (約 48 倍増、利益構成比 94%)

**予想 PER**：約 4.9 倍 (割安水準)

サムスン電子は AI メモリ超好況を背景に史上最高の業績を達成したが、HBM 市場では SK ハイニックスへの後れが株価評価を抑制している。ただし 2 月に HBM4 メモリを世界初で量産・出荷開始したと発表しており、エヌビディアの次世代 Vera Rubin 向け HBM4 採用拡大が実現すれば、株価の大幅な見直しが期待される。予想 PER 約 4.9 倍という歴史的な割安水準は注目に値する。

### 3-3. TSMC (2330.TW / TSM) — AI 製造の唯一無二の存在

カテゴリ：先端半導体受託製造 (ファウンドリー)

**Q1 2026 売上高 (確定値)**：359 億ドル (NT\$1,134.1 十億 (約 1.13 兆 NT\$)、前年比+35.1%/USD 建て+40.6%)

**営業利益率**：58.1% (Q1 2026 確定値)

**粗利率**：66.2% (Q1 2026 確定値)

**AI・HPC 向け売上比率**：61% (Q1 2026 実績)

**2026 年設備投資**：520~560 億ドル (うち 70~80%が先端プロセス向け)

**Q2 2026 売上ガイダンス**：378~388 億ドル (営業利益率 56.5~58.5%見通し)

エヌビディアの GPU (Blackwell、Vera Rubin) を全量製造する唯一の受託工場として、AI 半導体ブームの最大受益者の一つ。Q1 2026 売上は USD 建てで前年比+40.6% (NT\$建てで+35.1%) と市場予想を上回り、営業利益率も 58.1%とガイダンス上限を超えた。HPC 向けが売上の 61%を占め、アリゾナ工場でも Blackwell ウェハの生産が始まっている。長期的に最も安定したエヌビディア関連銘柄と評価される。

### 3-4. LG 電子 (066570.KS) — フィジカル AI 新規参入

カテゴリ：家電・ロボティクス

**株価動向**：4 月 28 日に一時+15%急騰 (2 月 11 日以来最大の上昇率)

**協業内容**：家庭用ロボットのエヌビディアプラットフォーム統合に関する戦略的協議

LG 電子の広報担当者は代表がエヌビディアと会談したことを確認し、ロボティクスエコシステムを含むフィジカル AI 分野での戦略的協業の可能性を模索していると述べた。半導体の枠を超えたフィジカル AI 拡大の典型的な受益銘柄であり、ジェンソン・ファン CEO が「フィジカル AI は生成 AI に続く次の波」と位置づけていることが追い風。

### 3-5. 南亜科技 / Nanya Technology (2408.TW) — 出遅れ有望株

カテゴリ：DRAM・LPDDR

株価動向：4月27日に上限ストップ高 (NT\$226.5) → 直近で-8.3%調整

協業内容：エヌビディア Vera Rubin プラットフォームへの LPDDR5X 供給 (台湾初の AI サーバーメモリ参入)

粗利ポテンシャル：AI 向けメモリが本格出荷すれば粗利率 70%超の可能性

TSMC の技術支援を受けて Nanya Technology の LPDDR 製品が Vera Rubin 向けの検証をパスし、サプライチェーンに組み込まれた。エヌビディアは電力消費削減と地政学リスク分散のため代替供給源を模索しており、Nanya はその受益者となった。急騰後の調整は短期的な収益貢献の限定性を織り込んでおり、中長期の容量拡大に伴う業績向上に期待。

### 3-6. 德賽西威 / Desay SV Automotive (002920.SZ)

カテゴリ：自動運転・車載 AI

株価動向：エヌビディアとの量産型インテリジェント運転ソリューション発表後に急伸

リスク：中国本土上場のため地政学的リスクを考慮が必要

### 3-7. パテオ・コネク ト / Pateo Connect Technology (上海)

カテゴリ：自動車テクノロジー

株価動向：エヌビディアとの一連の協業発表後に急伸

特徴：国内・域内市場以外ではまだ知名度が低い小型株だが、投資家の関心急上昇

### 3-8. 勝宏科技 (香港・深圳二重上場)

カテゴリ：PCB・回路基板

香港上場日：2026年4月21日

上場初日株価：+60%急騰 (NT\$336.20 / 発行価格 NT\$209.88 比)

調達額：26億ドル (約 4,100億円)、コーナーストーン投資家 37社が約 10億ドル引き受け

## 4. 出遅れ銘柄の詳細分析

業績は急拡大しているにもかかわらず、株価評価が割安に放置されている、または急騰後に大きく調整している銘柄を特に注目銘柄として整理する。

銘柄	コード	出遅れ理由	着目点・カタリスト	バリュエーション
サムスン電子	005930.KS	HBM で SK ハイニックスに後れ。競争劣位の印象から株価評価が低迷	HBM4 量産拡大・シェア回復。半導体ファウンドリー事業の成長	予想 PER 約 4.9 倍 (割安)
南亜科技 (Nanya)	2408.TW	急騰後に調整。AI 向け出荷はまだ限定的で近期的な収益貢献は小さい	Vera Rubin 採用拡大。容量増加なら粗利 70%超の可能性	調整後 NT\$215 付近

## サムスン電子 — 出遅れの詳細

サムスン電子の業績は 2026 年 Q1 において史上最高（営業利益+755%）を達成したにもかかわらず、株価は SK ハイニックスほどの評価を受けていない。主因は HBM（高帯域幅メモリ）競争での SK ハイニックスへの後れである。SK ハイニックスがエヌビディアの最重要サプライヤーとして確固たる地位を築く一方、サムスンは HBM3 世代での出遅れの印象が払拭されていない。

ただし、カタリスト要因は複数存在する。2 月に世界初で HBM4 の量産・出荷を開始。Vera Rubin 向けの HBM4 採用が確認されれば、予想 PER 約 4.9 倍という歴史的割安水準からの大幅な株価見直しが期待できる。長期投資家にとって、業績対比での割安感は魅力的な水準といえる。

## 南亜科技（Nanya Technology） — 出遅れの詳細

南亜科技はエヌビディアの Vera Rubin 向けサプライチェーン参入というニュースで 4 月 27 日に上限ストップ高まで急騰したが、直近では-8.3%の調整を経ている。近期的な AI 向け出荷は能力制約から限定的であり、消費者向け DRAM が主体の現在の収益構造では劇的な業績改善を織り込みにくい。

中長期的な観点では、AI 向けメモリが規模を持ってくれば粗利率 70%超が射程に入るとアナリストは試算しており、現在の株価水準（NT\$215 前後）は先行した期待の剥落を経た後の仕込み場として注目される可能性がある。

## 5. まとめ・投資上のポイント

エヌビディアのフィジカル AI 戦略の拡大は、従来の半導体サプライヤー（SK ハイニックス、TSMC）に加え、ロボティクス（LG 電子）、自動運転（Desay SV、Pateo Connect）、新興メモリ（Nanya Technology）など裾野が広がっている。アジアのサプライヤー比率が 90%に達した事実は、エヌビディアの成長がアジア株全体の株価動向を左右する構造を意味する。

- SK ハイニックスは HBM 市場首位として最も安定した恩恵を享受。営業利益率 72%はエヌビディア(65%)・TSMC(58.1%)を上回る。
- TSMC はエヌビディア GPU 全量製造の唯一の存在として長期的に安定した受益者。
- サムスン電子は HBM4 量産拡大が進めば、予想 PER 約 4.9 倍という割安水準からの大きな株価見直し余地あり（出遅れ筆頭）。
- 南亜科技は Vera Rubin 参入が確認されたものの収益貢献はまだ限定的。中長期で能力拡大を見守る局面（出遅れ候補）。
- LG 電子、Desay SV、Pateo はフィジカル AI という新たな成長テーマへの参入で、業績への具体的な貢献は今後の協議次第。
- 勝宏科技は香港上場初日+60%と市場の高い期待を反映。二重上場による流動性にも注目。